

一般国道55号
こうちなんこく
高知南国道路
事後評価

令和7年12月5日



国土交通省四国地方整備局

1. 事業の目的と概要（1）

■事業目的

- ・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化を支援
 - ・南海トラフ地震や津波発生時の緊急輸送道路を確保するとともに、現道の渋滞緩和、三次救急医療機関への迅速な救急搬送の支援及び高知JCT、高知新港、高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化などの支援を目的とした道路

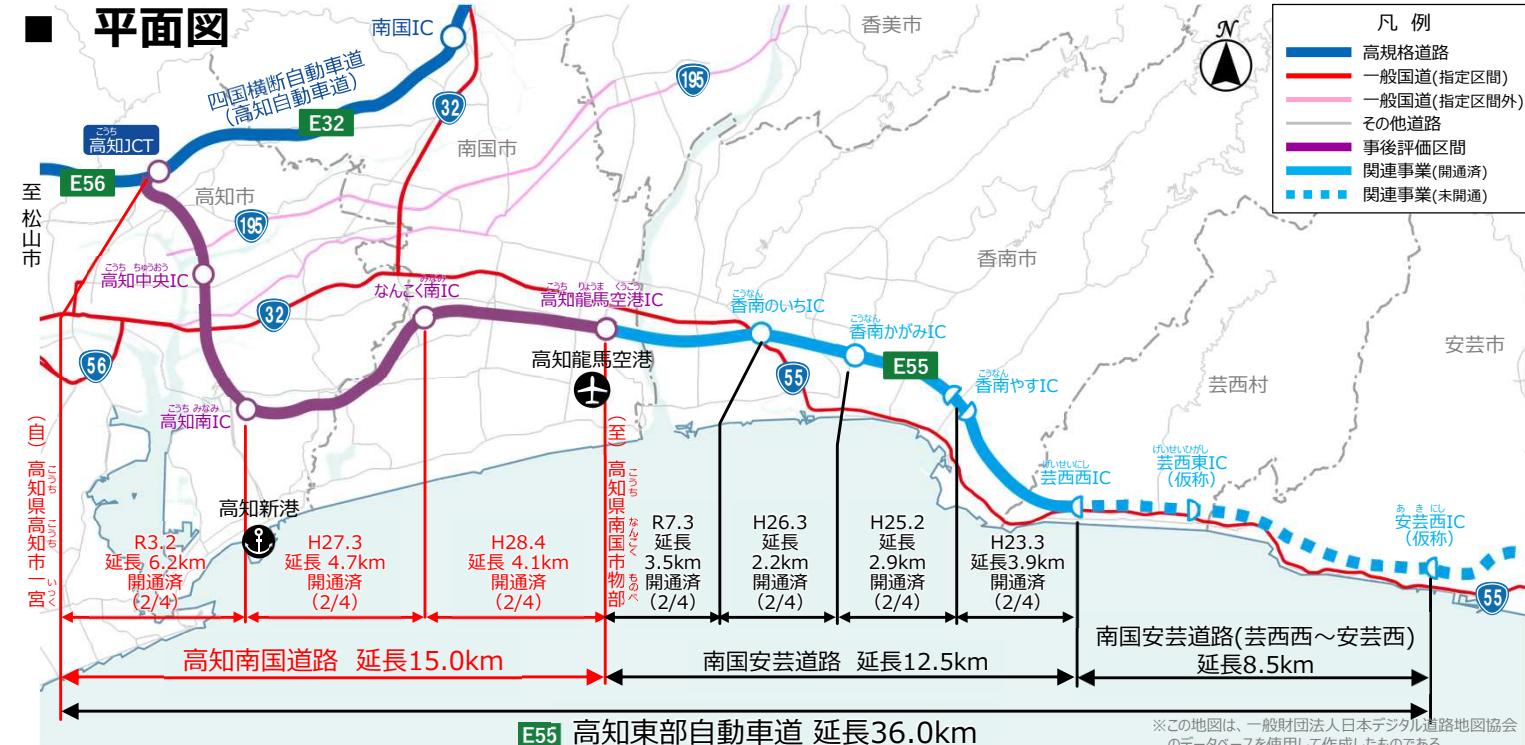
位置図



■ 計画概要

| 項目 | 内容 |
|--------|-------------------------------|
| 事業名 | 一般国道55号 高知南国道路 |
| 起終点 | 高知県高知市一宮へ 高知県南国市物部 |
| 延長 | 延長15.0km |
| 構造規格 | 第1種第3級[自動車専用道路] |
| 設計速度 | 設計速度 80km/h |
| 事業化 | 平成2年度 |
| 都市計画決定 | 平成2年度[平成16、21年度変更] |
| 用地着手 | 平成4年度 |
| 工事着手 | 平成12年度 |
| 開通年度 | 令和2年度[令和3年2月27日] 全線暫定2車線開通 |

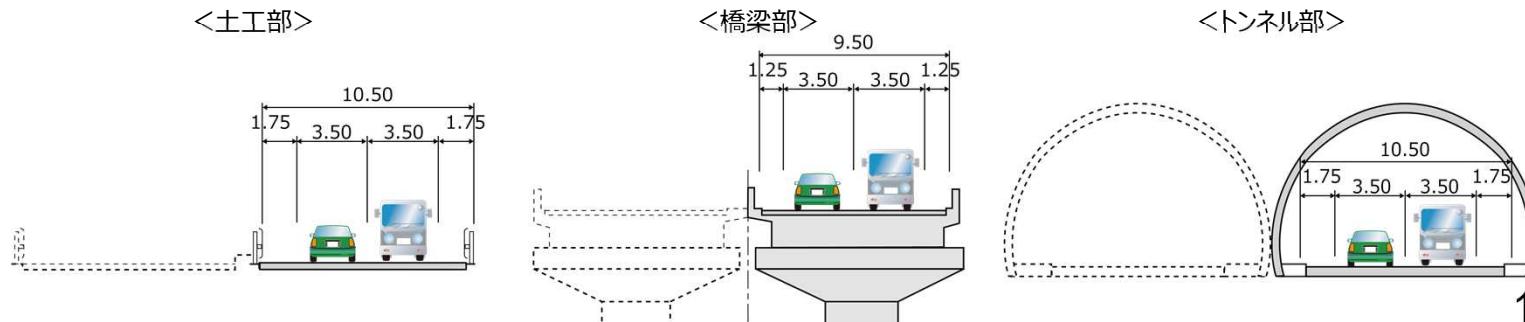
平面圖



■ 標準断面図

※点線部分は将来計画（当面暫定2車線開通）

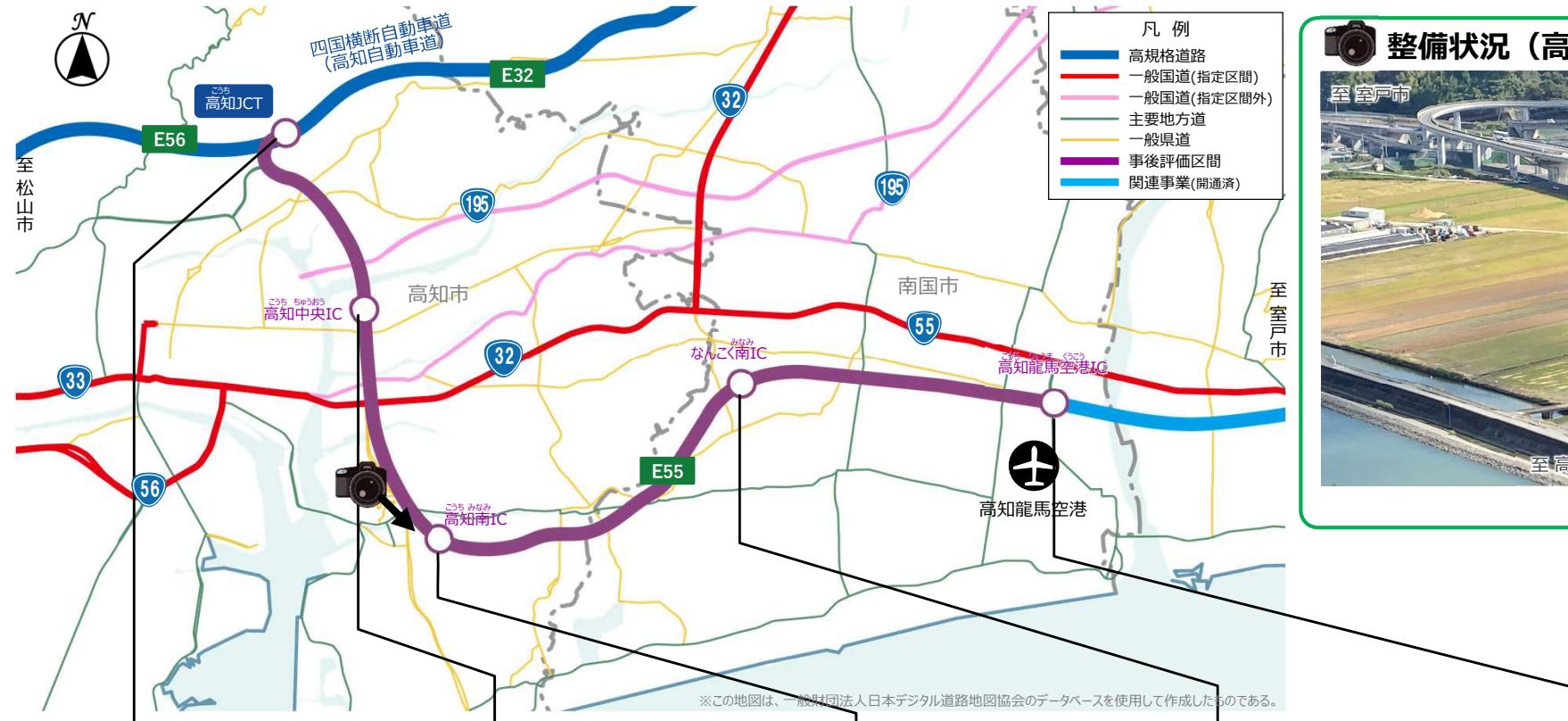
[单位：m]



1. 事業の目的と概要（2）

■事業経緯

- 高知南IC～なんごく南IC間は平成26年度、なんごく南IC～高知龍馬空港IC間は平成28年度、高知JCT～高知南IC間は令和2年度に完成し、全線暫定2車線開通



| 工区 | 1工区 (高知市一宮～ 高知市砂地) | 2工区 (高知市砂地～ 高知市五台山) | 3工区 (高知市五台山～ 南国市伊達野) | 4工区 (南国市伊達野～ 南国市物部) |
|----|--|--|---|---------------------------|
| 延長 | 2.8km | 3.4km | 4.7km | 4.1km |
| 開通 | 高知JCT～高知南IC 令和2年度 (令和3年2月27日) 暫定2車線開通 | 高知南IC～なんごく南IC 平成26年度 (平成27年3月22日) 暫定2車線開通 | なんごく南IC～高知龍馬空港IC 平成28年度 (平成28年4月23日) 暫定2車線開通 | |

2. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

■ 前回評価と開通後の比較

<一般国道55号 高知南国道路>

| | 前回評価 (R2年度) | 開通後 (R3.2開通) | 変化及びその要因 |
|----------------|--|---|---|
| 道路構造等 | 第1種第3級 80km/h 延長15.0km 完成4車線 | 第1種第3級 80km/h 延長15.0km 暫定2車線 | ・早期に道路ネットワーク網をつなげることを優先するため、暫定2車線で当面事業完了 |
| 総事業費 | 約1,740億円 | 約1,641億円 | ・早期に道路ネットワーク網をつなげることを優先するため、暫定2車線で当面事業完了 |
| 交通量 | － (R12将来推計値) 2,200～ 30,800台/日 ^{※1} | 5,100～ 25,800台/日 ^{※2} 参考値 (R22将来推計値) 2,600～ 28,400台/日^{※3} | ・前回評価時(※1)は、H22全国道路・街路交通情勢調査ベースでの将来 (R12) 推計値 (完成4車線) ・開通後(※2)は、高知JCT～高知龍馬空港IC間における実測値 (R7.10.14(火)) ・参考値(※3)は、H27全国道路・街路交通情勢調査ベースでの将来 (R22) 推計値 (暫定2車線) |
| 事業期間 | 平成2年度 ～令和11年度 | 平成2年度 ～令和 2 年度 | ・早期に道路ネットワーク網をつなげることを優先するため、暫定2車線で当面事業完了 |
| 費用便益比 (B/C) | 0.9 【1.3】 | 0.9 【 1.1 】 | ・基準年の変更 ・費用便益分析マニュアルの改訂 ・前回評価の【*】は、高知東部自動車道を評価対象とした費用便益比 ・開通後の【*】は、徳島JCT～高知JCT間の高規格道路を評価対象とした費用便益比 |

3. 利用状況

- 全線暫定2車線開通後の交通量は約5,100台/日～25,800台/日。
- 並行する周辺道路では、高知南国道路への交通の転換などにより、交通量が約1割～4割減少。

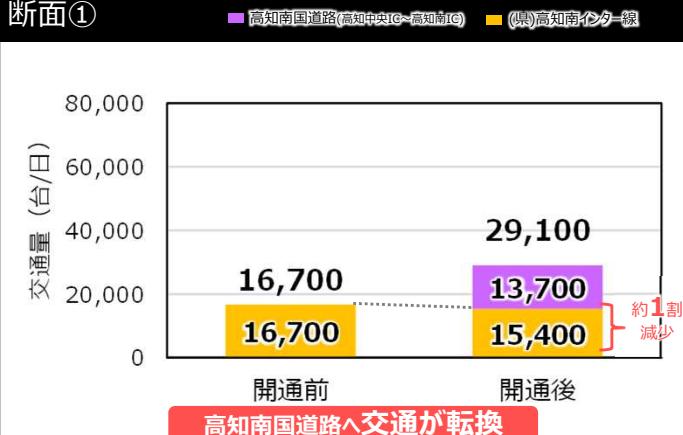
■ 調査断面位置図



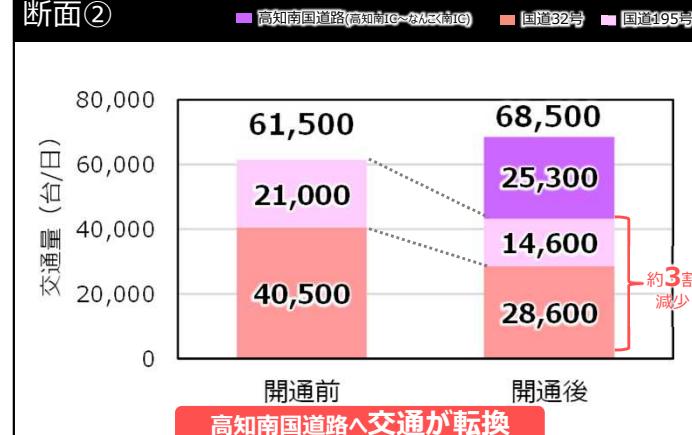
利用状況



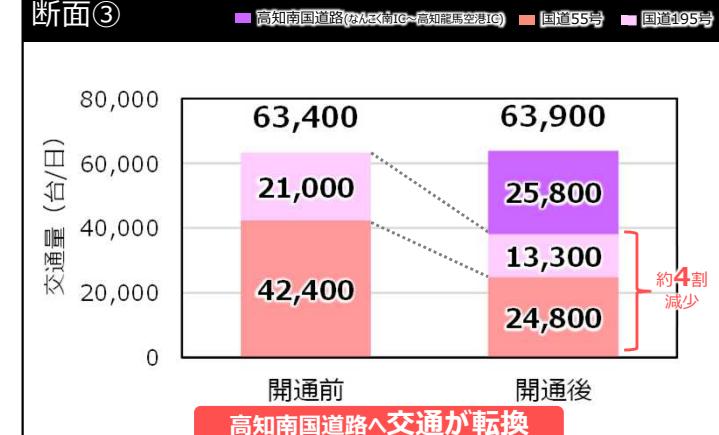
断面①



断面②



断面③



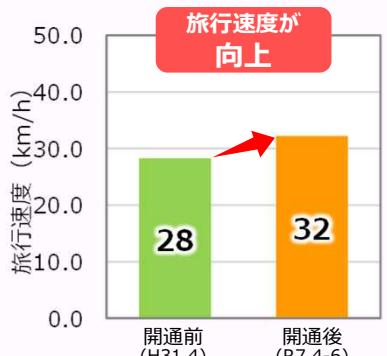
4. 事業効果の発現状況（1）周辺道路の混雑緩和

- 全線暫定2車線開通による交通転換により、高知南国道路周辺道路の旅行速度が向上。
- 旅行速度の向上により、高知市内部に点在する主要渋滞箇所の一部が解消。

＜並行現道の旅行速度の変化＞

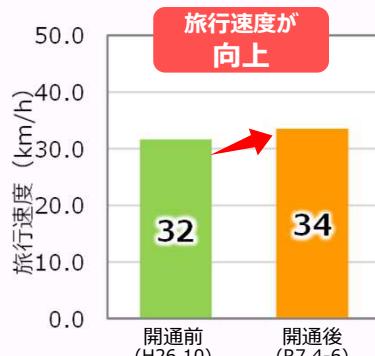


集計区間①【県道44号、県道376号】



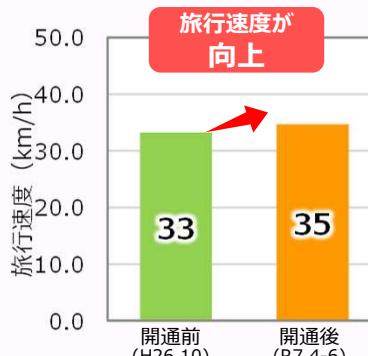
資料) 開通前: ETC2.0プローブデータ[H31.4] (平日) ※混雑時
開通後: ETC2.0プローブデータ[R7.4~6] (平日) ※混雑時

集計区間②【国道32号】



資料) 開通前: 民間プローブデータ[H26.10] (平日) ※混雑時
開通後: ETC2.0プローブデータ[R7.4~6] (平日) ※混雑時

集計区間③【国道55号】



交通状況の変化

▼ 南国バイパス美術館通り交差点付近



開通後



【通勤利用者の声】

- 高知南国道路開通前と比較すると現道で混雑していた箇所は整備が進むごとに解消されていきました。
- 今では、大型車の多くが高知南国道路に転換したことで、現道は非常に通行しやすくなっています。



資料) ヒアリング調査結果 (R7.6)

4. 事業効果の発現状況（2）緊急輸送道路ネットワークの強化及び防災機能の向上

- 全線暫定2車線開通により、津波等の影響を受けない緊急輸送道路ネットワークを確保。
- また、道路に併設した緊急避難施設により、地域住民の災害に対する安心感が向上。

<災害に強い道路の形成>



<高知南国道路に併設された緊急避難施設>



【自衛隊関係者の声】

- 高知南国道路の開通に伴い、津波等の影響を受けずに高知県西側（四万十市方面）へ部隊をより迅速に展開できるようになりました。
- 災害発生から72時間以内は生存率に大きく関わるため、人員や資材を短時間で現場に展開できれば、早期の救助活動と生存率の向上が期待できます。さらに、長期浸水予測区域を通過する高知南国道路を活用することで、被害状況の把握や救助活動に向けた準備を迅速化できます。

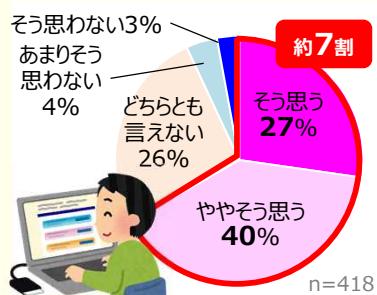
▼長期浸水予測区域の被害状況を確認する自衛隊員（イメージ）



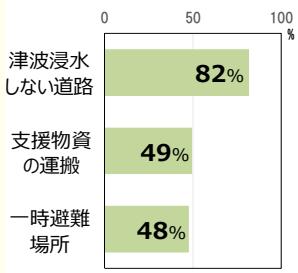
【地域住民の声】

- 地域住民の7割は、災害に対する安心感が向上。
- 具体には『津波浸水しない道路、支援物資の運搬、一時避難場所の設置』に安心感を覚えると回答。

▼高知南国道路の防災機能に対する安心感の有無



▼安心感を覚える主な防災機能



資料) ヒアリング調査結果 (R7.7)

資料) Webアンケート調査 (R3.6)
高知南国道路を利用した418名の回答

思うと回答した279名の回答

4. 事業効果の発現状況（3）新たな空港アクセスルートの形成による利便性向上

- 全線暫定2車線開通により、現道の主要渋滞箇所を回避する新たな空港アクセスルートを利用することで、空港連絡バスの所要時間が約8分短縮し、空港利用者の利便性向上に寄与。

<位置図>



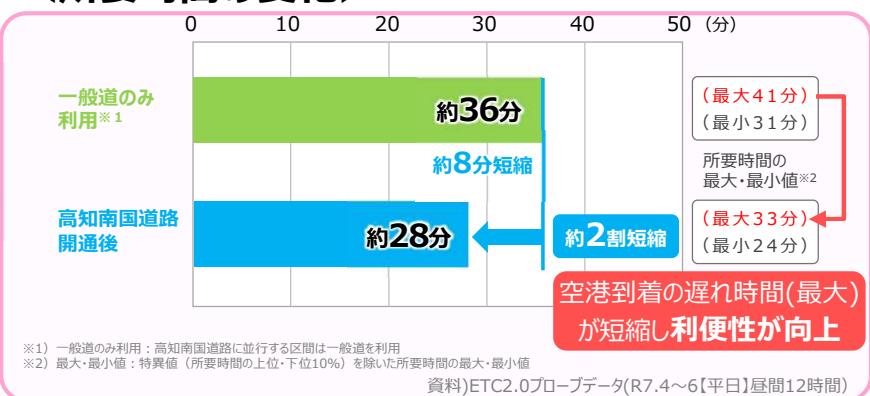
▼写真①渋滞中の国道55号を空港方面へ走行するバス



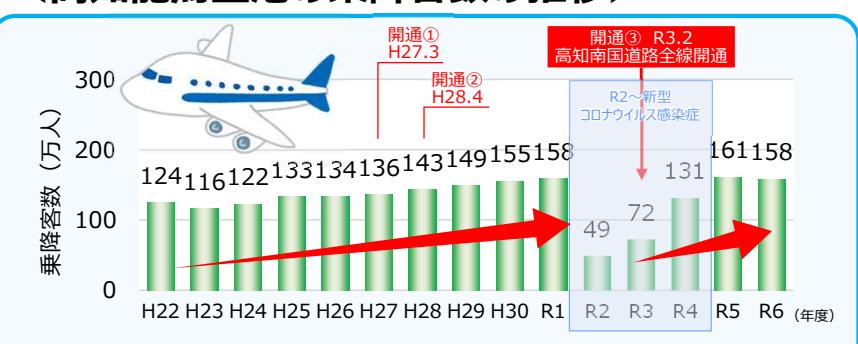
▼写真②高知南国道路を空港方面へ走行するバス



<所要時間の変化>



<高知龍馬空港の乗降客数の推移>



【バス事業者の声】

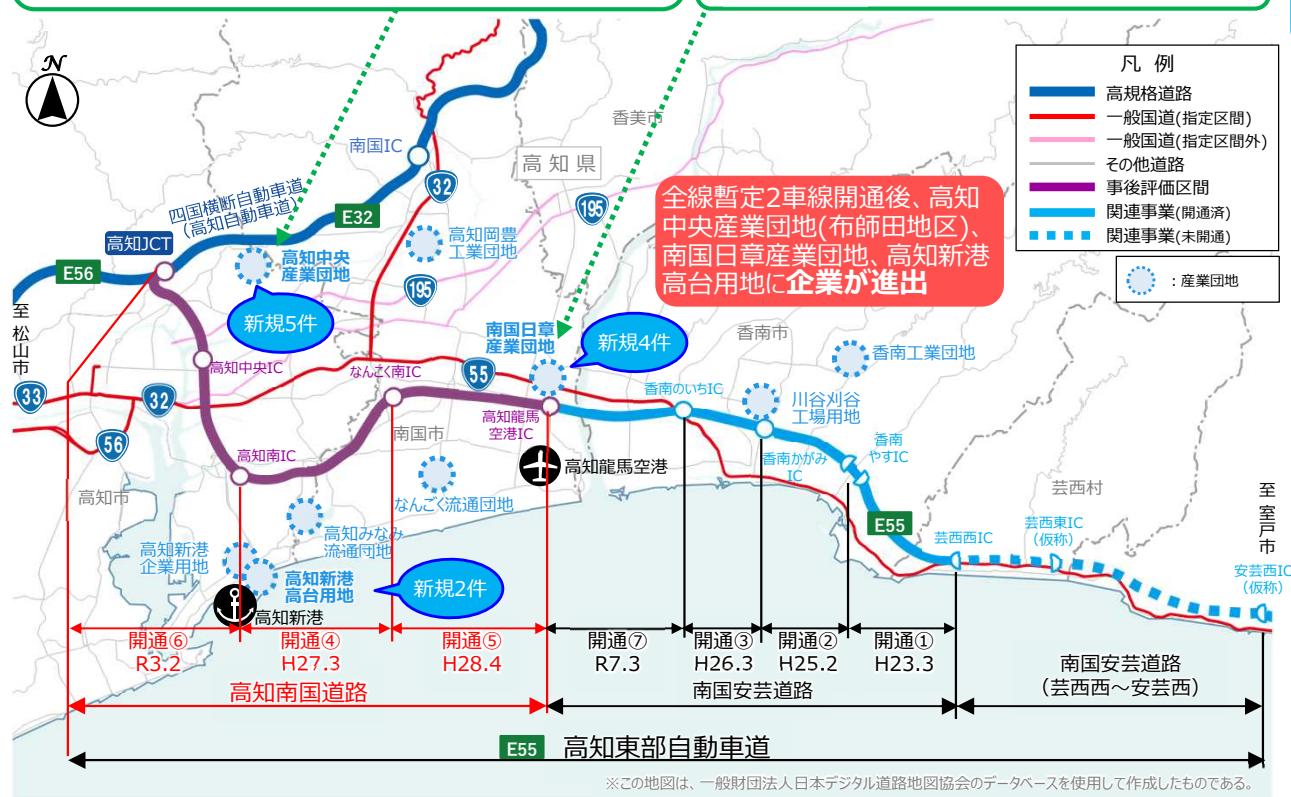
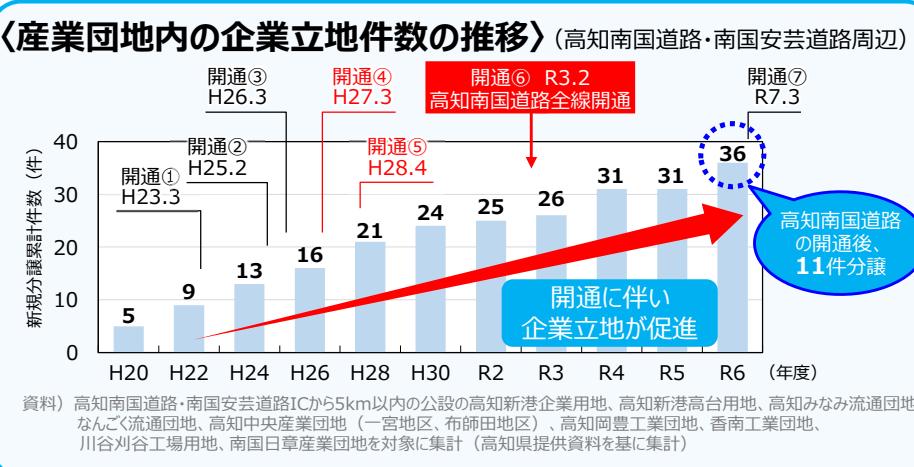
- 高知南国道路を通行することで、空港連絡バスの所要時間が短縮するとともに定時性が向上し、高知市内から高知龍馬空港へのアクセス性、利便性が格段に向上しました。
- また、以前は国道32号、55号で予期せぬ渋滞に巻き込まれ、飛行機の時間に間に合わないことがありました。しかし、主要渋滞箇所を回避できるルートを運行することにより、その心配もなくなりました。



4. 事業効果の発現状況（4）企業立地の促進による地域産業の活性化に寄与

- 全線暫定2車線開通により、沿線の産業団地へのアクセス性及び利便性が向上。
- アクセス性及び利便性の向上より、高知南国道路周辺の企業立地が促進。

〈高知南国道路・南国安芸道路沿線の企業立地と産業団地計画〉



【産業団地関係者の声】

・団地と本州方面の顧客企業や物流ハブ施設（高知新港等）とのアクセス性及び利便性が向上したことにより、企業誘致活動において大きなアピールができるることはもとより、従業員等の人材確保の観点からも通勤エリアの拡大による県内雇用の活性化に繋がっています。



資料) ヒアリング調査結果 (R7.6)

【進出企業関係者の声（南国日章団地）】

・原材料が県外から高知自動車道経由で入荷し、製品も西日本の各地に高知自動車道経由で出荷していることから、物流面や南海トラフに備えたBCP対策面においても大きなメリットがあると考え、津波浸水の影響を受けずに高知自動車道（高知JCT）に直結し、高規格道路に接続するICの近傍に位置する南国日章産業団地への立地を決定しました。



資料) ヒアリング調査結果 (R7.10)

5. 【参考】ネットワーク効果の発現状況（1）救急医療活動への貢献

- 高知県東部地域から三次救急医療機関などのある高知市方面へ年間約8百件救急搬送。
- 高知南国道路も含めたこれまでの開通により、高知市内の医療機関への搬送時間が短縮するとともに機関員の負担が軽減。
- 今後の高規格道路の整備により、更なるアクセス性向上による60分圏域の拡大やリダンダシーの確保など東部地域の救急医療活動へのより一層の貢献が期待される。

<三次救急医療機関への60分圏域の変化>



凡 例

- 高規格道路
- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)
- その他道路
- 事後評価区間
- 関連事業(開通済)
- 関連事業(未開通)

高知方面への搬送 (高知市・南国市・香南市)

三次救急医療機関

県東部の3消防本部管内

※60分圏域について

外傷による死亡の疫学調査の結果、受傷から60分以内に専門的な治療を受けることで患者の予後や生存率が大きく改善されるとしており、救命・救急医療において重要な指標となっている。

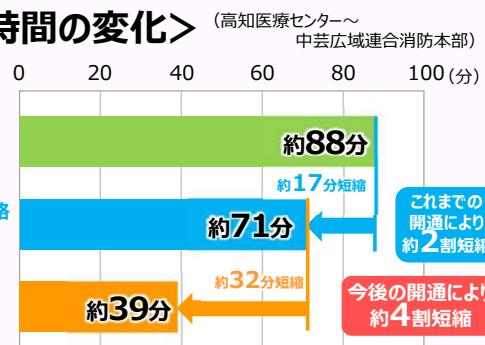
(資料) 搬送件数データ(R6)
・安芸市消防本部・中芸広域連合消防本部・室戸市消防本部へのヒアリング結果 (R7.6)

60分圏域

- 高知南国道路開通前
- 高知南国道路開通後
- 全線開通後

※この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

<所要時間の変化>



資料) R3全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
一般道のみ利用: R3全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
・高知龍馬空港IC～芸西西IC: ETC2.0ロープデータ (R7.4～6【平日】混雑時平均旅行速度)
高知南国道路開通後: R3全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
・高知JCT～芸西西IC: ETC2.0ロープデータ (R7.4～6【平日】混雑時平均旅行速度)
全線開通後: R3全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
・高知JCT～高知龍馬空港IC: ETC2.0ロープデータ (R7.4～6【平日】混雑時平均旅行速度)
・南国安芸道路: 阿南安芸自動車道(80km/h)※北川道路・野根安倉道路(60km/h)
資料) 人口: R2国勢調査500mメッシュ人口
※一般道のみ利用: 高知南国道路上並行する区間は一般道を利用

【消防関係者の声】

- これまでの開通により、高知市内の医療機関への搬送時間は、大幅な時間短縮となっています。また、一般道等で搬送するときの交差点での注意義務など（信号、歩行者、自転車、対向車両など）のストレスが減り、機関員の負担軽減になっています。
- 今後の高規格道路の延伸により、搬送時間の短縮はもとより、事故や災害などがあっても使用可能な道路が整備されることで、一般道以外での救急搬送ルートが確保され、安心安全な道路として期待できます。



5. 【参考】ネットワーク効果の発現状況（2）

港湾アクセス向上による

地域産業の活性化を支援



- 高知南国道路も含めたこれまでの開通により、クルーズ船の寄港や高知県が推進している食品輸出等を担う重要港湾である高知港（高知新港）へのアクセス性が向上。
- 今後の高規格道路の整備による更なるアクセス性向上により、新たなクルーズ船オプショナルツアーの造成や高知県東部地域の雇用の拡大などによる地域産業の活性化への支援が期待される。

＜位置図＞



＜クルーズ船寄港状況＞（高知港）

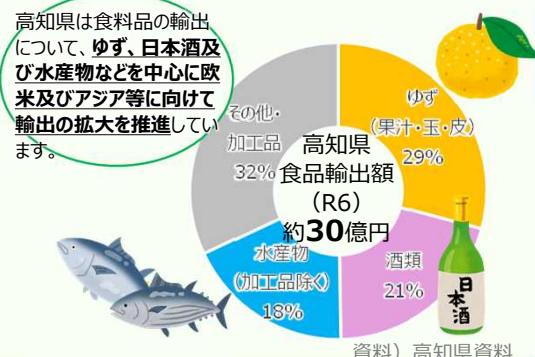


【クルーズ船関係者の声】

- ・クルーズ船では出航時間厳守のため、高知南国道路の整備による定時性や代替性の向上により、出航時間に遅れる心配が軽減しています。
- ・全線開通により往復で1時間以上短縮すると、滞在先を追加した新たなオプショナルツアーの造成等により、魅力が向上することで、誘致活動の大きなアピールポイントとなります。



【高知県の食品輸出実績】

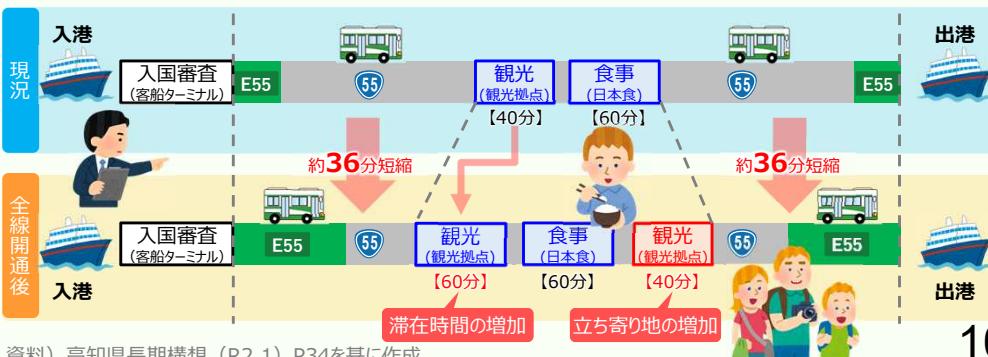


【高知港に搬送している事業者の声】

- ・高知東部自動車道を経由して、国内の得意先や港から海外等へゆず製品を届けており、大型トラックでの移動時間が大幅に短縮されました。
- ・通勤時間の長さから勤務地として敬遠されていた地域ですが、今後の開通により、通勤時間が短縮されることで、新規就労者の獲得が期待されます。



【道路整備によるクルーズ船オプショナルツアー事例（イメージ）】



6. 対応方針（案）

■ 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

- 高知南国道路の完成供用により、「周辺道路の混雑緩和」、「緊急輸送ネットワークの強化及び防災機能の向上」、「新たな空港アクセスルートの形成による利便性向上」、「企業立地の促進による地域産業の活性化に寄与」、「救急医療活動への貢献」、「港湾アクセス向上による地域産業の活性化を支援」など、高知南国道路の整備目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事業評価および改善措置の必要性はない。
- なお、事業中の四国8の字ネットワークを構成する事業では、徳島JCTから高知JCTまでの複数の区間を一体とした評価を実施しているため、引き続き高知南国道路を含めた事業評価を実施する予定。

■ 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 事業前・事業後の整備効果に関して統計指標、ヒアリング等を用いて、整備効果の確認が出来ている。
- 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は見られない。
- 高知南国道路の開通により、防災機能の向上や地域産業の活性化につながる効果も確認できたことから、こうした効果も評価されることが望ましい。